

取扱いの趣旨

成人における内視鏡検査時に苦痛・不安軽減目的に通常使用される薬剤は、抗不安薬であり静脈麻酔剤ではないことから、静脈麻酔の算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【麻酔】

《令和7年2月28日》

471 静脈麻酔（内視鏡検査時）の算定について

○ 取扱い

成人における次の診療行為に対する L 001－2 静脈麻酔の算定は、原則として認められない。

- (1) 上部消化管内視鏡検査 (2) 下部消化管内視鏡検査

○ 取扱いを作成した根拠等

静脈麻酔とは、静脈注射用麻酔剤（全身麻酔剤のイソゾール、ラボナール、プロポフォール、ケタミン、麻酔用神経遮断剤のドロペリドール）を用いた全身麻酔であり、意識消失を目的とするものである。成人における内視鏡検査時に苦痛・不安軽減目的に通常用いられる薬剤は、抗不安薬であり静脈麻酔剤ではないことから静脈麻酔の算定は適応外となる。また、成人における本検査時に静脈麻酔剤による全身麻酔を行うことは、一般的にその必要性は低いと考える。

以上のことから、成人における上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査に対する L 001－2 静脈麻酔の算定は、原則として認められないと判断した。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

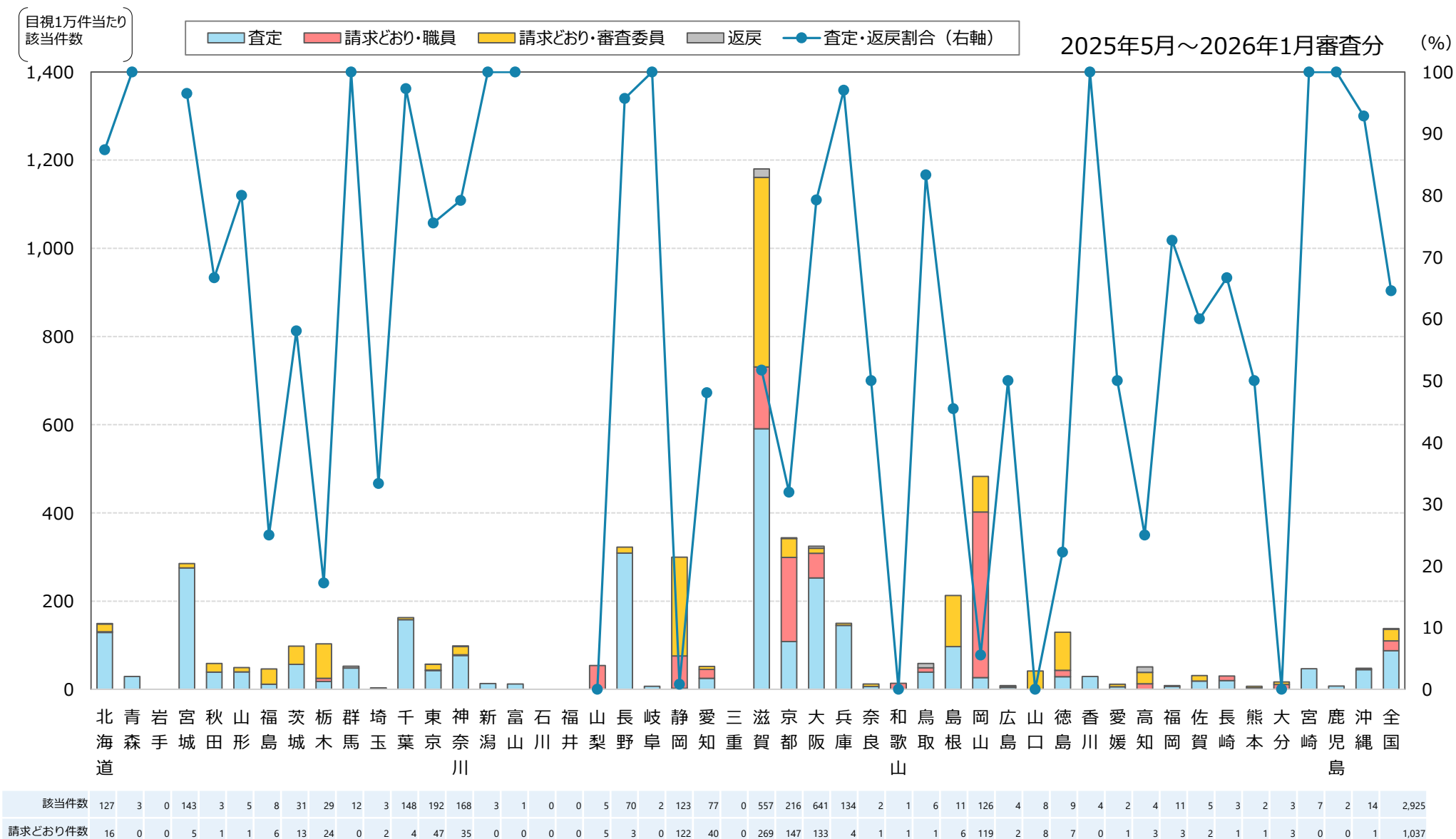
➤ 全国の査定・返戻割合 64.55%

➤ 検証対象都道府県 20

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	山梨、山口、大分、静岡、岡山、栃木、徳島、福島、高知、京都、島根、愛知、滋賀、茨城、佐賀、東京	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	岡山、京都、滋賀、静岡、大阪、山梨、愛知、徳島、高知、大分、鳥取、栃木、神奈川、北海道、東京	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	滋賀、静岡、島根、徳島、岡山、栃木、京都、山口、茨城、福島、高知、神奈川、北海道、東京、佐賀、大阪	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	2,925件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1,888件
検証を必要とする審査	請求どおり	1,037件



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数